

令和4年度 第3回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

人権教育課いじめ問題等対策室

令和4年度 第3回徳島県いじめ問題等対策審議会について(報告)

1 開催日時 令和 5 年 1 月 1 6 日 (月) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

2 協議の柱

(1) 「つながり リレー動画」の取組について

※「つながりリレー動画」作成の趣旨

コロナ禍の中、友達や家族、地域の人たち等との心のつながりを感じ、深めることができる動画の作成や視聴を通してつながりの大切さを考える機会にする。

☆応募学校 3 6 校 (小学14校・中学11校・高校8校・特別支援3校) ☆作品数 4 3 作品

(2) 「文部科学省 令和 3 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果について

※徳島県内国公私立の小・中・高・特別支援学校の調査結果 ※()対前年度

①暴力行為(件数) 【小学校308(+10)・中学校134(+15)・高校28(-7)】

②いじめ認知(件数) 【小学校1974(+229)・中学校546(+31)・高校39(-25)・特別支援34(+12)】

③不登校(人) 【小学校374(+53)・中学校953(+260)・高校(147(-13))】

3 協議内容

(1) 「つながり リレー動画」の取組についての主な意見

いじめの未然防止、いじめ問題の解消

○動画を見た子どもたちが、温かい気持ちになり、学校に期待する思いが高まる。いじめに関して、多くの子がそういう気持ちになることで、未然防止につながる。

○いじめ問題の解消には、保護者や学校等が価値観を共有しなければいけない。制作した動画を学年、学校全体、保護者へと広げ、いじめ問題の認識を共有できればよいと思う。

交流の広がりへの評価・期待

○参加した学校の感想に「地域の方と交流できて良かった」や、高校生が「小学生と交流したい」などの声が見られ、交流が広がったことはつながりリレー動画の成果である。

○地域の方との関わりやつながりが印象的だった。地域の方とふれ合う機会が減少している中で、この取組を通してつながってほしい。

※参考 「応募してよかったこと」(応募校へのアンケート調査から) [別紙参照]

(2) 「令和 3 年度児童生徒の問題行動・不登校等の調査」の結果についての主な意見

○軽く叩いたり、からかうことを周りはいじめでないと感じていても、受けている本人は嫌な場合がある。ひやかしやからかいも、いじめであると認識することが大事。

○不登校児童生徒のオンラインでの出席を認めてほしいという声があり、自分も賛成である。ただし、大々的に認めると不登校増加につながる心配もあり、バランスが必要。

4 今後の予定

◇「第 2 回徳島県いじめ問題等対策連絡協議会」の開催 (2 月 1 7 日)

◇「つながりリレー動画」の継続実施

「つながりリレー動画」に応募してよかったこと（応募校へのアンケート調査から）

友達の大切さ

- 生徒自身が学校生活の中で、してもらって嬉しかった経験を振り返ることで、改めて友達の大切さについて考えるきっかけになった。
- 改めて人と人がつながる大切さを実感することもできた。
- 動画にあったエピソードは自分も経験したことがあり共感できた。温かい気持ちになった。

友達とのつながりの広がり

- 台詞を女子が中心に話し合って決めたり、ダンスを踊る時にみんなが映るように男子が声をかけたり、クラスみんなで盛り上がり創り上げようとする気持ちの高まりが見られた。
- 集団で取り組むことの楽しさを味わえた。
- グループで話し合って言うことや動作を考えることによりグループ間での仲が深まった。

家族や地域との交流

- 動画を保護者に見てもらって話ができた。
- 地域の方との交流をもつことができた。
- 小学校と交流したい！（※高校生の意見）

自分を知る・周りを知る

- 自分たちの学校の取組を振り返る良い機会になり、他学年がやっていることを知る機会にもなった。また、他校の取組も知ることができる機会だったので制作に参加してよかった。
- 学校で実施している取組をYouTubeという形でいろいろな方に知っていただけで良かったと思う。形としても残るので、生徒も継続して頑張るきっかけになればいいと思った。

自信や誇り

- 自分たちの学校のよさを再確認し、誇りをもつことができた。
- 制作することにより生徒の自信につながった。
- 動画に映る自分や友達の頑張っている姿を見て、声を出して喜ぶ生徒も見られた。自分たちの頑張りを視覚的に振り返ることで自尊感情の育成につながると感じた。

積極性

- 自分たちで内容を考え撮影に取り組んだため、積極的に活動できた。
- 生徒たちが試行錯誤しながらも、楽しそうに制作に励む姿が見られ、生徒たちが主体的に活動するよい機会となった。

今後の改善点について

PRの仕方

△つながりリレー動画のPRの仕方を工夫する。

募集期間

△児童の意欲の高まりに合わせて動画を作成するには、時間が少し足りなかった。早い段階で「つながりリレー動画」の募集を知っていたら、タイミングを考え、より効果的にできたと思う。

応募形式

△動画提出がCD-R形式であるのが手間であった。メールやクラウドを用いて提出できるようになればありがたい。

著作権

△著作権の侵害を心配せず、安心して使用できる音源の提供や、使用条件に合った音源のあるWEBサイトの紹介をしていただけたらありがたい。